

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3471502447		
法人名	佐々木産業有限会社		
事業所名	グループホーム あげぼのあゆみホーム		
所在地 (電話番号)	福山市曙町五丁目5 - 25 (電話) 084-954-5704		
評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会		
所在地	広島市南区皆実町一丁目6番29号		
訪問調査日	平成21年4月16日	評価確定日	平成21年5月8日

## 【情報提供票より】(H.21年 4月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14 人, 非常勤 2人, 常勤換算 15.57人

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	軽量鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(無) 0 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,160 円	

### (4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80 歳	最低	73 歳	最高	100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	クリニック和田 楠本病院 橋高歯科医院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

福山の中心部に近い閑静な住宅街に位置し、広い前庭や菜園のあるゆったりした空間の明るい生活環境である。利用者の方に「人生をゆっくり、ゆったり歩いていって欲しい」との思いから、事業所独自の理念のである。安心と思いやり(愛)を持ち、家庭的な温もりの中で皆が家族の一員として暮らしていける雰囲気作りに心掛け、本人の希望に沿った本人本位の介護や支援に努めている。また、協力医療機関との連携も密で、必要に応じては夜間対応も可能であり、医療面では家族の安心につながっている。地域の行事にも積極的に参加しながら、交流への取り組みがなされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題は、地域との交流を深めることがあげられていたが、町内会にも加入し、地域の行事(溝掃除、年末防災夜廻り、学区のふれあい祭りに作品出品、盆踊り等)に参加したり、地域の集会には講師を引受けるなどの取り組み状況がみられる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回は自己評価を職員で分担し、全職員で話し合いを行ったことで種々の業務を見直すことができた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議には、毎回職員から介護に関する議題を提案し、ホームの運営と入居者の生活の理解を得る機会となっている。また、それぞれの立場からの貴重な意見が聞ける独自の手法で運営推進会議を進めているため、これがホーム運営の大きな支えとなりつつある。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の面会も多く、毎月1回は必ず来られるまでに至っている。職員は、家族が訪問しやすい関係を作り、面会時等に入居者の生活状況を伝えたり、家族の要望を聞くようにしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、地域の行事にも積極的に参加している。災害時には、地域の協力が不可欠なので、地域に呼びかけ、地域を交えての避難訓練を、今年度は予定している。また、小学生による年2回のボランティア活動や、中学生の5日間の体験学習の受け入れなど地域との交流に努めている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者が日々の生活を心身共に安心して過ごせるようにと、事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時には、理念の本質を思い起し復唱している。年に1度は、理念を題材に職員が作文を書き、それぞれが更に理念に対する理解を深めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、町内の溝掃除に出かけたり、学区のふれあい祭りには利用者の作品を出品したり、また盆踊りにも参加するなど交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員で分担して自己評価に取り組み、職員間で十分な話し合いを行っている。また、外部評価を受けることで業務の見直しができ、課題を明確にして改善につなげている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議では、介護に関する議題を提出し、資料も作成してこれらを基に話し合い、その意見や要望を、スタッフ会議で話し合いながら、サービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者の巡回訪問、また市役所への訪問を通じて担当者との情報交換を行い、サービスの円滑化を図っている。		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書を送付する際に、手紙を同封して近況報告をしている。家族の訪問時にも、その時々状況を詳細に報告している。緊急時には、電話連絡をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会は設置されていないが、家族の運営推進会議への出席時や訪問時には、積極的に話をするようにしている。また、職員に直接言えないことはご意見箱を設置して活用を図っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職がほとんどなく、ユニット間の異動も最小限に抑えている。新しい職員も慣れるまでは異動させていない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社外研修を順次、職員に受けさせている。運営推進会議の場でもスタッフが提案し、議事を進めるなかで研修の役割をはたしている。毎年、介護福祉士の資格取得に挑戦する職員も多く、資質向上に前向きに取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	個人的交流はあるが、事業所間の交流の場がない。		事業所間のネットワーク作りを模索して欲しい。積極的な職員の交流は事業所の長所・短所の発見に寄与するものと期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>これまで自宅で使用していた馴染みの物を持ち込み生活を始めると共に、職員は本人の情報を参考にしながら、早く馴染めるように利用者の希望に沿った支援に努めている。</p>		
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と共に草取りや畑作りをしながら談話したり、ホームで収穫した柿の皮をむいたり、食事の下準備を一緒にしながら、日々の生活の中でお互いに支えあう関係を築いている。</p>		
<p><b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや意向は、日々の生活のなかでの行動や発言から汲みとり、把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の希望や意向を汲み取り、また家族の要望も取り入れて、職員間でのカンファレンスを行い介護計画を作成しているが、家族との意見交換が十分とは言えず、意向を反映したものとなっていない。</p>		<p>日々の関わりの中から、利用者・家族の希望をより詳細に汲み取る手法を考察し、家族との連携をより深め、利用者のより良いケアにつなげることを期待します。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回を基本に、状態の変化があればその都度、見直しを行っている。入退院等の状況の変化がある場合は、医師の意見も反映し、家族の意向も聞いて見直しを行っている。</p>		<p>見直し時、モニタリング・評価を十分に行い、介護計画に反映させるように期待します。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じられるように支援している。家族が通院等の対応ができない時は、受診介助等も支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関からホームへの定期的な往診もあるが、本人・家族が希望するかかりつけ医とも連携を図りながら、適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今まで看取りのケースはないが、事業所で対応し得る最大のケアについての方針は共有されている。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	同じ目線で話し合うなど個人の尊厳には十分配慮している。個人情報に関する書類等の管理は確保している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に対応している。朝食・昼食が一緒の場合も普通のこととして、生活が流れていけるよう支援に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃は配食サービスを利用しているが、ただし毎日の朝食や土曜日の昼・夕食は、ホームで調理している。下準備は、利用者と一緒にするようにし、タケノコを頂いたら調理方法を利用者に教えてもらいながら調理したり、テーブル拭き・あと片付けなども利用者と共に話しながら実施している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体力も考慮しながら、週2～3回の入浴を支援している。入浴のない日は、清拭をしている。失禁の場合にも陰部洗浄を行うなどの支援を日常的に行っている。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	朝一番は、洗濯物をたたむことから始まる。様子を見ながら、掃除を促すと一緒にできる利用者もある。庭や畑の草取りなどは声掛けを行い、好きな人には手伝ってもらうようにしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム敷地内の散歩や、週2回の食材の買出し、家族の協力による日々の外出など、体調や状況に応じた支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関の鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年はホームでの消防訓練が予定通りに出来ていないようであるが、本年は定期的実施するために、また運営推進会議で、地域と一緒に消防訓練を受けるように計画を立てている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	配食サービスを利用することにより、栄養バランスのとれた食事の献立になっている。減塩食への対応、ミキサー食等の食事形態の対応もしている。水分補給は、1日1500ccを目指しており、1000ccを切ることがないよう、水分摂取量の記録をもとに支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花が生けられ、リビングには手作りのカレンダーなど利用者と共に楽しめる居心地の良い家庭的な雰囲気作りを心掛けている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	着なれた衣類、使い馴れた物が持ち込まれ、家と同じような生活をしてもらえる雰囲気作りに努めている。		

# 介護サービス自己評価基準

小規模多機能型居宅介護  
認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム あけぼのあゆみホーム

評価年月日 2009 年 4 月 1 日

記入年月日 2009 年 4 月 1 日

この基準に基づき、別紙の実施方法  
のとおり自己評価を行うこと。

記入者 管理職 氏名 吉仲 禎恵

広島県福祉保健部社会福祉局介護保険指導室



番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	-----------------------	---------------------------------

## 理念の基づく運営

### 1 理念の共有

1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	入居者が日々の生活に満足して過ごして頂ける様、基本理念を定めている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	運営方針や理念を職員に意識付けるために工夫をしている。 朝礼では唱えている。		一日一日の仕事の中で理念の実行。 近づけたかどうか、自己評価をお願いしている。十分に出来ていないので、今後も取り組んで行く。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	地域の行事等に参加し、利用者と職員の姿を直接見ていただき、気づきや意見を素直に聞いて、活かすよう努める。		

### 2 地域との支えあい

4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	管理者・職員も地域の方との交流を大切にして、挨拶や町内会・組内の行事等に積極的に出向くようにしている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の行事に参加させて頂くだけでなく、町内会に入会し、地域活動に前向きに取り組むようにしている。		続けたい。 介護や認知症についての講演の要望があれば、出向き交流を深めている。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	女性会などの集まりに出向き、介護相談や認知症の理解等に努めて頂くよう説明したり、ホームに遊びに来て頂く様、声かけをしている。		これからも、ホームで出来ることを充実していきたい。
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価の結果や指導して頂いた事項等を報告し、職員会議で検討しながら、改善に取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	評価の結果等については推進会議で報告し、意見を頂いている。 結果はホームの玄関に掲示し、自由に見て頂く様にしている。		今後も関係者の方の意見を聞きながら、よりよいホーム作りに努めたい。
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市からの情報提供や指導や相談を積極的に行い、今以上のサービスの向上に努める。		これからも市との連携で質の向上に努めたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	常に勉強会や研修に参加し、理解を深めるよう努めるようにしている。		全職員が理解出来るよう、勉強を続けたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修会等には参加し勉強して、常に現場の介護に注意している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約に際しては十分に説明を行い、理解・納得して頂くように図っている。		これからも続けたい。
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	意見・不満・苦情があれば出来るだけ聞かせて頂き、今後に反映させて頂くように努力している。		今後も続けて行きたい。
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月1回、請求書を送る際、スタッフが状態を一筆書いて同封している。		電話等でその都度報告・相談し、家族と連携を十分取らせて頂いている。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	推進会議に出席された際や、ホームに来られた時に、お話させて頂いている。		出来るだけ気軽にお話出来る様に努めていきたい。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議に出し、検討している。		今後も続けたい。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	必要に応じ、適切に勤務調整している。		今後も臨機応変に調整して行きたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮            運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>ユニットごとの職員の異動は最小限に抑えている。離職も少なく、今の所ダメージは少ないが、今後も異動・離職には配慮して行きたい。</p>		<p>これからも続けたい。</p>
<p>5 人材の育成と支援</p>				
19	<p>職員を育てる取り組み            運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>資格取得や研修には前向きに取り組んでいる。介護福祉士に毎年新たに挑戦する人が多く前向きである。</p>		<p>受験に協力して行きたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上            運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>出来る限り交流があれば進んで出向くようにしている。</p>		<p>続けて行きたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み            運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員会議等で話し合いながら、経営者や職員の意見を出し合い、問題点を理解するように努めている。</p>		<p>続けて行きたい。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み            運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>	<p>資格取得には前向きに取り組む、報酬にも向上は見られるが、勤務実績の評価はあまり出来ない。</p>		<p>働きがいのある職場改善に努めたい。</p>
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>				
<p>1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係            相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。</p>	<p>家族の方と協力し十分に話し合うように努めている。</p>		<p>本人の気持ちを受け止める様にしている。</p>

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談・利用に至るまで家族と話し合い、理解して頂ける様努力している。		これからも続けて行きたい。
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まず良く聞き、必要とされる支援を共に考える様に努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならな馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居後は提供して頂いた情報を参考にしながら、見守りつつ馴染んでいただくように努めている。		職員は常に気をつけ、利用者のニーズを見極め、早く馴染んで頂く様、支援している。
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共同生活の中で、喜怒哀楽を共有し、しかり・しかられ助け合いながら学んでいる。		日々共に支えあい、相手を理解し関係を築いている。
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	月1回の支払いの時に利用者の生活や変化など、短い文で連絡をしたり、電話などで早急に対応したりしている。		これからもよりよい判断で家族との関係を作って行きたい。
29	本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	問題が起きた時は面会時に出来るだけ家族と会話して、両方よりよい関係が保てる様に努めている。		来所持、出来る限りコミュニケーションを取り、利用者よの関係作りに努力して行きたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき た項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族や知人には面会に来て頂いている。 馴染みの場所への外出も家族の協力の下、行っている。</p>		<p>今後とも関係継続を支援していく。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>	<p>孤立しがちな利用者には、スタッフが中に入り他者との関係が円滑に行えるよう支援している。</p>		<p>引き続き支援していく。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p>	<p>多施設への転居後面会に行ったり、家族より近況報告を頂くも、その後の関係は十分ではない。</p>		<p>退所後も家族より相談を受け付ける等、連絡を取り関係を続けるよう努める。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> </div>				
<p>1 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>希望や意向伝達が困難な方が多い為、日々の生活の中での行動や発言よりくみ取り。把握に努める。</p>		<p>これからも把握に努めたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居時に本人や家族より聞き取りを行い、把握に努めている。</p>		<p>話されている内容から、くみ取って把握していく。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p>	<p>個別記録に1日の過ごし方や心身状態を記入し、把握に努めている。</p>		<p>今後とも続けていく。</p>

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	カンファレンスにより職員間では意見やアイデアを出し合っているが、家族との意見交換が不十分である。		家族の意見や思いを反映させた計画を作成していきたい。
37	状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の期間に応じて、3ヶ月に1度見直しを行い、入退院等状況の変化がある場合は、その都度見直しを行っている。		今後も続けていく。
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録や日勤帯・夜勤帯別に申し送りを記入し情報を共有している。		記入漏れや申し送り忘れ等、無いように努める。
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	認知症対応のデイサービスを行っているが、現在利用者はいない。		利用して頂ける様努める。
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	定期的に朗読ボランティアの方に来訪して頂いている。		消防・警察との連携は十分でない。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	ほかのサービス利用はしていない。		他業者のケアマネージャーと連携を取り、必要であれば他サービスの利用も支援していきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議へは参加して頂いているが、その他は十分ではない。		交流を深めていきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	家族の了解の元、かかりつけ医より月2回の往診を受けている。		今まで通り連携していく。
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	主治医より紹介して頂ける体制は整っている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	日常の健康管理についての相談は、主治医と密に連絡を取り行っている。		
46	早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には定期的な面会で状態を把握し、病院関係者と退院についての相談を行っている。		これからも努めていきたい。



番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有            重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。</p>	<p>ホームの方針や基準を踏まえ、出来るだけ早い段階から家族と話し、医師と相談し方針を決める取り組みをしている。</p>		<p>的確な対応に努め、これからも理解していただくように努めたい。</p>
48	<p>重度化や週末期に向けたチームでの支援            重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>利用者個々の変化に応じ、「出来ること・出来ないこと」を見極め、支援していくようにしている。</p>		<p>医師と相談しながら、変化に備え正しい見極めが出来るようにしたい。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止            本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。</p>	<p>本人に関わる必要なケアは関係者・家族等と十分に話し合いをしている。</p>		<p>今後も継続していきたい。</p>
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>				
<p>1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底            一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p>	<p>個々に関する個人情報は充分配慮し、介護・記録などプライバシーの確保は徹底して取り扱っている。</p>		<p>今後も注意して配慮したい。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援            本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>一人一人に思いを表出してもらうよう、わかる力に合った説明を行い、納得して頂けるよう支援を行っている。</p>		<p>自分の思いを言葉で表し行動していただく。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし            職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>職員側の決まりでペースを崩すこともある為、注意しながら支援するように努めている。</p>		<p>個々のペースを大切に、日々努力して行きたい。</p>

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	月1回ホームにて希望者には散髪をして頂いている。洗面後に本人が化粧水等つけられ、身だしなみを整えられている。		今後も支援していきたい。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の出来る範囲で手伝って頂いている。		食器洗いやテーブル拭き等、積極的に取り組んで生きたい。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	出来るだけ利用者の好みに合うように心がけている。お酒・タバコは考えていない。		日常的には十分でないので、取り組むように心がけたい。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	定期的に声かけをして排泄のパターンや習慣付けを支援し、取り組んでいる。		今後も続けたい。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体力的なことを考慮し、週3回又は2回と、体調を見ながら行っている。他の日は清拭をしている。		一人一人の体調に合わせて支援している。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者個々の習慣や状況に応じて声かけし、休息していただく様に気をつけて支援する。		昼寝など、できるだけ出来るように支援している。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	居室やリビングの掃除、洗濯干しや洗濯物のため、又庭や畑の草むしりや水やり等、入居者が出来ることは共に協力し合い、その人の役割を支援している。		これからも色々と考え支援したい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	手元に金銭をお持ちの方はおられないが、家族と話し合い預かれる人は預かり、本人の希望があれば時々おやつ等の買い物に付き合っている。		金銭が自己管理できるかどうか見ながら、家族と共に支援していきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	利用者が外出したい時は出来る限り希望に沿いたい、介護現場のリスクを考えると近所等の散歩くらいしか出来ず、充分ではない。		可能な限り希望に沿い、体調やお天気、気温等を考慮して支援していきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	家族との外出・墓参り・帰宅等、元気な方の家族には協力を呼びかけている。		これからも続けたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自己決定がある人は、プライバシーに配慮し支援できている。		家族の方が電話をかけさせないようにと希望される方もあるが、先に介護者が必ず対応し、説明の上、かけて協力して頂くようにしている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	笑顔でお迎えしています。湯茶等をお出しするようにして、自然にユニットに親しんで頂けるように心がけています。		これからも続けたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が会議等で研修しながら随時勉強をするように努めている。		これからも研修等に参加し正しい勉強をしていきたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中、玄関の鍵はかけないケアをしている。居室は利用者の意志に任せています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者の所在を把握するため、時間毎に所在の場所チェック表を作り、その人が安全かどうか配慮していくことを心がけている。		これからも利用者に事故がない安全なホーム作りを努めたい。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者の目の届かない場所に保管し、利用後も早急に片付けるようにしている。自分で出来る人は希望に応じてスタッフが一緒に見守りながら対応し、その後は預かっている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	介護現場のリスクマネジメントの取り組みをはじめ、職員会議や推進会議などで意見を頂き、取り組んでいる。		今後も現場と共に勉強していきたい。
70	急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。	緊急時のマニュアルは出来ている。時々会議等で勉強したり、地域の応急手当の講習会などに参加。		定期的に勉強し、スタッフが全員確実に出来るよう続けたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	職員は災害の訓練等を消防署より指導を受け、毎年消防訓練に参加している。		地域からの協力が得られるよう働きかけに努めている。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	ケアプランに沿って家族への説明し、理解していただくよう努力している。変化が生じた際は、その都度家族と話し合いをしている。		これからも続け、理解していただけるよう努力したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々検温・脈拍・血圧等チェックし異変の発見に努め共有し、関係医師の支持を受け対応している。		一人一人の体調の変化に気づくよう日々注意し、介護に取り組んでいる。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の間違いないよう確認し、服薬時は一人一人見守りをしている。		個人の使用している薬を理解し、症状の変化の確認に努めている。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	排便チェック表に個人の排便の有無や便の状態、便間隔を記入し、飲食物の量に気をつけている。		散歩や体操等体を動かす働きかけに、よりいっそう努めていきたい。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一日一回は口腔ケアを行い、技師の確認・洗浄を行っている。		歯の状態や義歯の不具合等、必要に応じて歯科検診を行っている。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	献立は栄養士が考え、栄養バランス・カロリーは取れている。水分摂取量は職員がチェックをし、1度に飲めない利用者には時間をかけて飲んでもらい1日の水分摂取量を把握している。		昼間外出している利用者がいらっしやるので、食事・水分摂取量などの把握をしていきたい。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	石鹸での手洗い・消毒・ドアノブ・手すり等の消毒の実施、ノロウイルス・インフルエンザ等の発生時は家族の方に協力していただき(持ち込み・風邪引きなどの出入り)予防に努めている。		インフルエンザ予防接種は行っている職員もいる。感染予防に向けてマニュアルを作り対策している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎食後容器の消毒・食材は早めに使用し注意を怠らないように、また残さないように努めている。		これからも注意し安全管理に努めるよう支援したい。
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関・建物周辺は出入りがたやすく安心である。庭に木や花、玄関の出入り口などに鉢植えの花などで家庭的な雰囲気作りを心がけている。		一年を通して花のあるホームにしたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	派手すぎず飾りすぎず、季節を感じる家庭的な雰囲気を目指している。		季節の花を入れたり、年間を通して行事を取り入れたり、リビングでは手作りカレンダーなど利用者と共に楽しんでいる。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	畳コーナーやソファ、ウッドデッキ等自由に利用しコミュニケーションの場となっている。		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家庭で使い慣れた品物を出来るだけ持参して頂き、安心して頂けるよう配慮しています。		今後も続けたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	起床後居室の空気の入替えをし、その日の気温により温度調整をして快適に過ごせるよう配慮している。		続けるよう配慮していきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	滑り止めの床・手すりの配置・浴槽内の滑り止めマット、スリッパ等の配慮に気をつけている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	居室や洗濯物の整理、台所の手伝いなど安全に気を使い自立支援に努力している。		スタッフ全員が支援を理解し、これからも努力して行きたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	リビングより庭や外に行くことができ、草取りや花・野菜の手入れができる。また、ホームの周りの草取り等、健康な方で仲良く行っている。		これからも出来る支援をして行きたい。